

# 川越市教育委員会第5回臨時会会議録

- 1 会議の場所 川越市教育委員会 教育委員会室
- 2 開 会 平成26年8月4日 午後2時
- 3 閉 会 平成26年8月4日 午後4時55分
- 4 出席委員 梶川牧子、長谷川 均、原田由美、長井良憲、伊藤 明
- 5 欠席委員 なし
- 6 委員長の職務を行った者 委員長梶川牧子
- 7 説明のため出席した者 教育総務部長横田 隆、学校教育部長小林英二、学校教育部副部長兼教育指導課長佐野 勝、学校教育部参事兼学校管理課長中野浩義、学校教育部参事兼教育センター所長小熊利明、教育総務課長川合俊也、小学校用教科用図書選定委員会委員（川越第一小学校校長金子正樹、中央小学校校長加藤伸二、仙波小学校校長小俣仁司、新宿小学校校長平岡 健、古谷小学校校長高橋 等）

## 8 前回会議録の承認

平成26年度第4回定例会会議録については、現在調整中であり、次回会議において承認することになった。

## 9 議題及び議事の概要

日程第1議案第24号 平成27年度使用小学校用教科用図書を採択することについて

副部長兼教育指導課長

義務教育諸学校の教科用図書については、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律に基づき、学校教育法附則第9条に規定する教科用図書を採択する場合を除き、4年ごとに採択することとなっている。

また、今回の採択は、埼玉県教科用図書採択地区の変更により、川越市は第9採択地区（市単採）となり、本市の教科用図書採択については、川越市立小・中学校使用教科用図書の採択に関する規則に基づき、11種目の小学校用教科用図書について教育委員会が審議し、採択しようとするものである。

今年度の採択までの概要について説明する。本年5月から本日まで、規則に定められた教科用図書選定委員会等において、見本本が送付された教科用図書について綿密な調査研究と慎重な協議・検討を行った。

教科用図書調査研究専門委員会は、各教科の教科用図書について、公正中立な立場から真摯に調査研究を重ね、「教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告書」を作成し、教科用図書選定委員会に提出した。教科用図書選定委員会では、本日までの間に3回の会議を開き、専門員会から提出された「教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告書」とともに、学校からの意見、保護者の意見を

踏まえ、「市町村の教育委員会等が教科書を採択するに当たっての採択基準」を基に本市の観点を設定して協議・検討を行った。なお、教科用図書選定委員会から推薦教科書として報告されていない教科書についても、採択の対象であり、審議及び採択をお願いしたい。

委員長

審議及び採択の進め方についてお諮りしたい。

小学校用教科用図書については、これまでに各選定委員により、見本本について十分に研究されているところである。また、専門員の報告書、校長からの報告についても、全て事務局より事前に送付され、既に閲覧、研究されている。また、教科用図書選定委員会の報告書についても、事務局より届けられている。相当な量になるが、慎重に審議していくこととする。

審議及び採択の進め方については、11種目の教科書について、種目ごとに選定委員からの説明を求め、審議及び採択することとし、審議順は国語、書写、社会、地図、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、保健としてよろしいかお諮りしたい。

(全員異議なく同意)

委員長

次に、採択の方法についてお諮りしたい。

採択の方法については、無記名投票によることとし、教育委員5名の投票の結果、過半数の3票以上を獲得した教科書を採択とする形としてよろしいかお諮りしたい。

その際、票数が過半数に達しなかった場合、例えば、A者2票、B者2票、C者1票の場合は、A者とB者で再度投票を行うものとし、A者2票、B者1票、C者1票、D者1票の場合は、2票を獲得したA者を候補1として残し、1票ずつ獲得したB者、C者及びD者の3者で質疑後に再投票を行い候補2を決定し、最後に候補1と候補2で質疑後に決選投票とするように、過半数を獲得するまで投票を行う形とすることを併せてお諮りしたい。

(全員異議なく同意)

委員長

国語についての審議及び採択を行う。

選定委員

国語の教科用図書調査研究専門員会において、教科書目録に掲載された全ての教科書5者、東京書籍、学校図書、三省堂、教育出版、光村図書について、調査研究を行い、それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書は、東京書籍と教育出版の2者とした。

推薦理由については、東京書籍「新編 新しい国語」では、全体的に、児童が自覚して国語力を向上させられるように、方策を幾重にも講じている。各単元の「て

びき」の中に「言葉の力」欄を設け、その単元で中心的に扱った言語能力を単元の内容に即した表現で示している。これに関連させて、単元名に中心となる言語活動、その脇の「ねらい」に言語能力の要点、「てびき」には、ねらいに即した学習課題を明示している。換言すれば、単元を通して、課題解決的に国語科の学習を進められるようになっている。その過程で、論理的な思考力や創造的な表現力、情報を活用する力を伸ばすようにしている。また、単元末の「言葉」欄、巻末の「言葉の広場」、随所に設けた「漢字の練習」等により、基礎的な学習内容である漢字・言葉の知識や語彙の獲得が年間を通して確実に進められるように配慮されている。更に伝統的な言語文化や読書に親しむ方策も豊かである。

教育出版「ひろがる言葉 小学国語」では、言葉の力（国語の学力）を育てるために、いくつもの方策を講じている。「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元では、始めに単元の目標、学習の目当て、「学びのステップ」を示している。一方、「読むこと」の単元では、学習の手引きに三つの段階（導入・展開・活用）を示し、読みの技能を発展的に獲得させるようにしている。「ここが大事」という所で、学習のポイントを箇条書きで分かりやすくまとめている。また、各領域の単元で、「学び合い」の場として交流の場面を位置付け、「考える力」と「伝え合う力」を高めようとしている。更に、思考力や想像力を養うため、読書を促し広げる単元を設けたり、随所に本の紹介がなされたりしている。伝統的な言語文化に親しむよう学年の発達段階を考慮して教材を配置している。語彙や漢字など基礎的な知識の獲得を促すため、「漢字の広場」や語彙指導ができる欄を設けている。

#### 委員

今までは、光村図書だったが、今回この2者の教科書を推薦した理由を伺いたい。  
選定委員

一つ目には、各領域の国語力を確実に身に付けさせようとする工夫がよくされているところがある。二つ目には、語彙や漢字など国語科における基礎的な知識獲得のための工夫が豊かにされているところがある点である。

#### 委員

短歌や俳句といった伝統的な言語文化について推薦した教科書の良い点はどこか。  
選定委員

各者とも力を入れて取り上げている。東京書籍「新編 新しい国語」では、「日本の言の葉」というコーナーが設けられて、学年の発達段階に応じて昔話、俳句、慣用語、ことわざ、百人一首等の作品を掲載している。また、「日本語の調べ」を設け春夏秋冬の季節感を味わえるような詩や俳句等を取り上げている。教育出版「ひろがる言葉 小学国語」でも、同様なコーナーを設けていて、声に出して楽しめるような教材が掲載されている。

#### 委員

推薦した2者の教科書の違いはどこか教えて頂きたい。

選定委員

東京書籍「新編 新しい国語」は、学習の手引きが課題解決的な学習過程に沿って様々な説明がかなり丁寧にされているのが特徴の一つである。教育出版「ひろがる言葉 小学国語」は、読むことの単元では、手引きに三つの段階を示している。第1段階、第2段階、第3段階と学習の段階が組み立てられていくのが特徴である。2者については、学習の進め方が丁寧に示されて、子どもが自らの力で学習を進めようとしてもある程度できるようになっている。

委員

推薦に当たってどのような点を一番重視したか伺いたい。

選定委員

川越市教育委員会で作成している「学力向上プラン」は、各種の学力調査を踏まえて、学力向上の視点を設けている。今回は、その中に示されている思考力・判断力・表現力の育成という点に重点を置いて、このような力の育成が十分に行われるような教科書を選定したものである。

委員

その視点で研究した結果、この2者が本市の方針に一番適しているという理解でよろしいか。

選定委員

そのとおりである。

委員

基礎的・基本的な知識、技能の習得が重要だと思うが、推薦した教科書はどのような工夫がされているか伺いたい。

選定委員

東京書籍「新編 新しい国語」では、手引きの中に基礎的・基本的な内容、例えば、読むことでは、目標となる具体的な事柄が示されている。これは、全員が理解し習得できるようにする配慮である。教育出版「ひろがる言葉 小学国語」では、例えば、読むことの三つの段階であったり、話すこと、書くことの単元でも丁寧に段階が示されている。それらに沿って学習を進めると基礎的な教育内容の習得が安定的に可能となる。

委員

読書活動の促進や学校図書館の活用について、推薦した教科書においてはどのような扱いがなされているか伺いたい。

選定委員

2者共に、教科書の随所に本の紹介がされている。また、学期に1回位の割合で小単元が組み立てられていて、読書を促したり、「図書館に行ってこういう活動をしまし

よう」といった誘いかけがされている。

(教育委員による投票)

委員長

開票の結果、東京書籍「新編 新しい国語」3票、教育出版「ひろがる言葉 小学国語」2票、他は0票となり、国語は、東京書籍「新編 新しい国語」を採択することとする。

委員長

書写について審議及び採択を行う。

選定委員

書写の教科用図書調査研究専門委員会において、教科書目録に掲載された全ての教科書6者、東京書籍、学校図書、三省堂、教育出版、光村図書、日本文教出版について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書は、東京書籍と教育出版の2者とした。

推薦理由としては、東京書籍「新編 新しい書写」では、基礎的・基本的な書写技能を身に付けさせるための手立てを工夫している。巻頭で書写用具の使い方・取扱い方、姿勢について写真やイラストを使って示していること、教材文字の字形が細部まで整っていること、2色の淡墨を用いて筆の穂先の通り道を示していること、筆順の流れを丁寧に示していることなどがある。児童が主体的に学習に取り組めるように導くための手立てを講じている。課題を発見し原理・原則を導き出し他の文字に応用する力を育てるようにしていること、巻頭に5段階の「学習の進め方」を示していること、毛筆教材ページの左端に学習事項のインデックスを付け既習事項との関連を示したことなどである。書写で学習したことを生活に生かしたり、書写への興味・関心をより一層高めたりする工夫がある。「硬筆に広げよう」「ノートに書こう」「書いて味わおう」「生活に広げよう」のページがある。

教育出版「小学 書写」では、基礎的・基本的な書写技能を身に付けさせるための手立てを工夫している。巻頭で書写用具の使い方・取扱い方や前学年の基本的な筆使いについて写真やイラストを使って示していること、教材文字の字形が学習指導要領に示されている字形に基づいていること、2色の淡墨を用いて筆の穂先の通り道を示していること、筆使いのポイントを拡大図で示していること、毛筆学習の前後に硬筆で書く欄を設けていることなどである。児童が主体的に学習に取り組めるように導くための手立てを講じている。巻頭に7段階の「学習の進め方」を示していること、学習の進め方をマークも使い「めあて」「考えよう」「ここが大切」の流れで示していること、「ふり返ろう」の欄を設け自己評価ができるようにしてあることなどである。文字への興味・関心を高める手立ても随所に講じている。学習や日常生活で活用できるように「トライあんどチャレンジ」のページを学年が上

がるほど増やすようにしていること、巻頭の折り込みで様々な文字文化に関する資料を掲載していることなどである。

委員

2者の教科書を推薦した具体的理由を伺いたい。

選定委員

2者共に、基礎的・基本的な書写技能を身に付けさせるという手立てが細かくされている。二つ目には、児童が主体的に書写の学習に取り組める工夫がされている点である。

委員

教育出版「小学 書写」の推薦理由において、「文字への興味・関心を高める手立ても随所に講じている」とあるが、具体的に説明を伺いたい。

選定委員

見開きページには、文字のカギというコーナーが設けられており、漢字が伝わってきたころの、埼玉県の新倉山古墳で出土した鉄剣が写真で掲載されていたり、6年生では、松尾芭蕉の俳句を書いてみようといった単元がある。

委員

児童が意欲的に学習へ取り組むことができるように、推薦した教科書は、どのような工夫がされているか具体的に説明を伺いたい。

選定委員

3年生以上の毛筆は、日常生活の中で使用する機会が少なく、児童にとっては取り組みにくいものである。2者共に、その点を考慮して、毛筆で文字を書くという単元は、写真やイラスト、拡大図といったものを使いながら、非常に丁寧に、筆使いはこのようにすれば良いということが示されている。

委員

書写の教科書を推薦するに当たって一番重要視した点を伺いたい。

選定委員

一つ目は、児童が取り組みやすいか、学習が主体的にできるかどうかということが、先の説明にもあった思考力・判断力・表現力の育成へとつながっていくと考えて重きを置いた。二つ目は、手本の文字がどうかというところに重きを置いた。

委員

推薦した教科書は手本の表記に対してどういった工夫がされているか聞かせていただきたい。

選定委員

教育出版「小学 書写」は、学習指導要領に漢字配当表があるが、その漢字の字体を尊重して使用している。東京書籍「新編 新しい書写」では、より半紙や画仙紙に近いサイズの手本を掲載している。文字そのものの示し方の工夫はどの教科書

も行っているが、より字体、字形に重きを置いて選定するようにした。

#### 委員

書写の学習を他教科や日常生活で活かしていくために、どのような工夫がなされているか伺いたい。

#### 選定委員

他教科では、社会科新聞や理科新聞といった新聞で表現する学習があるが、東京書籍「新編 新しい書写」では、教科書に示して、こういった場面できれいな文字を書いて皆さんに見てもらおうという誘いかけをしている。教育出版「小学 書写」においても同様な内容を掲載している。生活的な場面においては、手紙なども扱っている。

#### 委員

児童が取り組みやすい、興味を持ちやすい教科書が良いとのことだが、推薦した2者の教科書において、挿し絵や写真、資料などの工夫の違いを伺いたい。

#### 選定委員

2者に大きな差異はないが、教育出版「小学 書写」の方が、拡大図を用いて、細かいところまで分かるようにしている点が、やや目立っている。

(教育委員による投票)

#### 委員長

開票の結果、教育出版「小学 書写」4票、東京書籍「新編 新しい書写」1票、他は0票となり、書写は、教育出版「小学 書写」を採択することとする。

#### 委員長

社会について審議及び採択を行う。

#### 選定委員

社会の教科用図書調査研究専門員会において、教科書目録に掲載された全ての教科書4者、東京書籍、教育出版、光村図書、日本文教出版について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書は、東京書籍と日本文教出版の2者とした。

推薦理由として、東京書籍「新編 新しい社会」では、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」を学習過程の基本としたページ構成となっており、児童・教員にとっても問題解決的な学習の流れをつかみやすい。また、全体的な概要を捉える学習問題と、それに関わる個々の社会的事象を追究していく学習問題を効果的に組み合わせ、社会的な見方・考え方を育てる工夫がなされている。加えて、学習場面に応じて学び方や学習内容のキーワードを示したり、「いかす」では社会参画に重きを置いた内容を扱ったり、「表にする」「地図で表す」「新聞にする」などの多様な学習のまとめ方を取り上げたりして、学び方を学びつつ、主体的に学習で

きるよう配慮されている。写真、統計資料や地図等の資料が多く、見開きのページにおいて多様な資料が掲載されており、興味・関心、資料活用能力の育成の上からも有効である。また、防災などの新たな課題に関する教材の充実も図っている。

日本文教出版「小学社会」では、疑問を基に学習問題を設定し、児童の思考の流れを大事にした学習構成となっている。児童が意欲をもって追究し、問題を解決していくことができるよう工夫されている。また、1単元に学習問題を二つ設定し、取り上げた社会的事象の様子だけではなくて、現在の課題やその解決策を追究する2段階の単元構成により、社会に参画する資質や能力を育成しようとする工夫も見られる。重要語句の太字表記、学び方や調べ方を例示するとともに、学習の振り返りの活動も充実させており、児童の主体的な学びを支援できるよう配慮されている。資料が豊富であり、大きな写真資料や臨場感のあるイラスト等が見開きに配置され、興味・関心を持って学習が展開できるよう工夫されている。また、防災などの新たな課題に関する教材の充実も図っている。

委員

全ての教科書について、日本の領土に関する記述はどのようにされているか。

選定委員

学習指導要領には、現在の領土問題に触れるようにするといった指導内容が示されており、全ての教科書においては、領土問題に触れているが、領土の位置と我が国が取っている対応等を含めた事実のみの記述となっている。

委員

国旗と国歌に対する記述についても伺いたい。

選定委員

全ての教科書において触れている。東京書籍「新編 新しい社会」は、半ページの取り扱いである。他の教科書も同じ内容で取り上げている。

委員

推薦した教科書で埼玉県に関する記述を取り上げているか伺いたい。

選定委員

東京書籍「新編 新しい社会」は、6年生の教科書で稲荷山古墳の鉄剣が、歴史の単元で紹介されている。5年生の教科書では、所沢の森林、トトロの森といった森林関係の写真が取り上げられている。日本文教出版「小学社会」は、5年生の教科書で、不老川が、環境の単元で紹介されている。

委員

川越に関する記述は取り上げられているか。

選定委員

直接的な記述は、2者共にない。歴史資料で一部紹介されている。

委員



教科書の推薦に当たって一番重要視した視点を伺いたい。

選定委員

社会科においては、問題解決的な学習が、いかに充実されているかという観点に重きを置いた。

委員

問題解決的な学習をもう少し具体的に説明してもらいたい。

選定委員

社会科の場合、学習に関する問題を、児童が見つけて、課題を設定し、その問題を追究、調べる。調べた結果をまとめて、考えて、そして表現していくという一連の流れになる。そういった問題解決の学習の流れが充実しているかということになる。

委員

問題解決的な学習については、この推薦した2者の教科書が他の教科書より優れているということによろしいか。

選定委員

そのとおりである。

委員

歴史認識、東日本大震災とそれに関連する原子力の問題において、推薦した教科書について大きな違いはあるか。

選定委員

歴史認識上の大きな違いはない。震災関係を教材の中に取り入れて扱っている量は、東京書籍「新編 新しい社会」の方が、日本文教出版「小学社会」より多く取り上げている。5年生、6年生で3箇所程度の掲載である。

委員

同和問題、身分制度については、全ての教科書において、どのように扱っているか。

選定委員

同和問題等については、全ての教科書に大きな差はない。どの教科書も厳しい条件下に置かれたことのみならず、いろいろなところで活躍された事例等を掲載し、明るい展望に立った同和教育という観点から記述されている。

(教育委員による投票)

委員長

開票の結果、東京書籍「新編 新しい社会」4票、日本文教出版「小学社会」1票、他は0票となり、社会は、東京書籍「新編 新しい社会」を採択することとする。

## 委員長

地図について審議及び採択を行う。

## 選定委員

地図の教科用図書調査研究専門員会において、教科書目録に掲載された全ての教科書2者、東京書籍、帝国書院について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書は、東京書籍と帝国書院の2者とした。

推薦理由として、東京書籍「新編 新しい地図帳」では、大判のため、地図や巻末の資料等が見やすく、且つ、地図の色調はユニバーサルデザインを用い、はっきりと分かるよう配慮されている。また、絵による記号も多く、各地域の特色を感覚的につかみやすい。加えて、多くのページで地図上にキャラクターを登場させ、吹き出しを活用して児童の興味・関心を高める工夫がなされている。巻頭では、地図帳の使い方を丁寧に説明するとともに、全体図は土地の高低を中心とした色分けにし、拡大図は土地利用の分布を中心の色分けするなど工夫している。巻末の資料では、大判を効果的に活用し、気候、産業や歴史に関わる資料を分かりやすく掲載しており、4年生から6年生の学習で活用できるよう配慮されている。索引は、多くの地名を掲載し、調べた地名をチェックできるとともに、自分の行ったことのある場所を書き込むことができるように工夫されている。

帝国書院「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」では、各ページの左端に地方区分等のインデックスが付けられ、地図の配色も明るく穏やかな色調で、且つ文字も分かりやすく配置されている。また、各見開きには土地の高さと土地利用のインデックスも付いており、土地の様子を把握しやすい。市町村名も細かく掲載し、交通網等は最新の情報を加えるなど、調べる活動を一層充実できるよう工夫されている。歴史の記号、産業の記号、環境の記号、世界遺産・世界一の記号等に分類整理されており、加えて、写真や資料図等が豊富で、それらを適所に差し込むことで、4年生から6年生の幅広い学年で十分に活用できるよう配慮されている。索引を使っての探し方や調べ方がコンパクトに示されており、都道府県名や歴史的な地名等が分かるよう地名の文字を赤、青、黒で色分けするなど工夫されている。巻末の資料は、情報量が豊かであり、興味・関心を持って主体的な学習を進めることができるよう配慮されている。

## 委員

それぞれの教科書の良さを伺いたい。

## 選定委員

東京書籍「新編 新しい地図帳」の方が大判であり、非常に大きくて見やすいのが特徴である。帝国書院「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」の方は、多様な情報を幅広く掲載しているという観点で4年生から6年生まで様々な学習の中で活用できる

点が特徴である。

委員

インデックスが付いているのは、帝国書院「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」のみでよろしいか。

選定委員

帝国書院「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」のインデックスは、ページを開いたとき、左ページの端に地方名などが表記されていて探しやすくなっている。東京書籍「新編 新しい地図帳」については表記されていない。

委員

地図は、いくつかポイントがあると思う。一つは、見やすさ・使いやすさ、一つは、情報量が多いかどうか、もう一つ大事なのは、授業はもちろんだが普段から活用できるかどうか、この3点が大事だと思うが、推薦した教科書についてはどうか。

選定委員

見やすさ・分かりやすさについては、2者共に遜色ないと思われる。使いやすさは、今まで帝国書院の教科書を使用しているため、児童が使い慣れているという点はあるが、2者共にそれぞれ工夫されているため、それほど遜色はないと思っている。多学年での活用が広いという点では、帝国書院「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」の方が、資料図の掲載量が他者より若干多いので、様々な場面で活用が可能と思われる。

委員

資料や写真が2者共に多く掲載されていると思うが、掲載状況等に具体的な違いがあるか。

選定委員

掲載状況については、2者共にそれほどの違いはないが、帝国書院「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」の方が、資料スペースが多いので、学習の中で、地図や絵図が様々な場面で活用できる。

(教育委員による投票)

委員長

開票の結果、帝国書院「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」5票、東京書籍「新編 新しい地図帳」0票となり、地図は、帝国書院「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」を採択することとする。

委員長

算数について審議及び採択を行う。

選定委員

算数の教科用図書調査研究専門委員会において、教科書目録に掲載された全ての教

科書6者、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、日本文教出版について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書は、東京書籍と教育出版の2者とした。

推薦理由として、東京書籍「新編 新しい算数」では、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けるため、適度な練習問題を設け、繰り返し適用できるようにするとともに、児童が見通しを持ったり、学び直しをしたりするなど、自学自習の学習習慣を身に付けられるように配慮されている。問題解決的な学習を基本にして構成され、自分や友達の考えを表現する活動を多く取り入れるなど、思考力・判断力・表現力を伸ばすように工夫している。日常生活に関係のある絵・写真・図表が多く、算数で学習したことを実生活と関連付けられるようにするとともに、算数的活動を通して、進んで学習に活用しようとする態度の育成が図れるよう工夫されている。ノート指導も適切に配列されているので、児童が問題解決的な学習の仕方を身に付け、自分の考えを表現する活動が充実するとともに、主体的に学習に取り組むことができる。6学生では、中学校の数学を具体的に経験する学習を通して、中学校の学習に興味を持って取り組めるよう工夫されている。

教育出版「小学算数」では、基礎的・基本的な知識と技能を身に付けるため、問題解決的な学習過程を通して既習の内容を繰り返し振り返られるようにするとともに、習熟を図る練習問題を設けている。算数的活動を積極的に行い、算数の良さを実感し、算数を活用しようとする態度を育むよう工夫している。学びと学びをつなぐことを重視し、単元間、学年を超えての振り返りができるよう配慮され、ノートに書く活動を重視するなど、思考力・判断力・表現力の育成を図る配慮がされている。様々なコラムを設け、学習を広げる楽しさが感じられるように工夫している。また、「算数ワールド」では、算数的活動の楽しさや数理的な処理の良さを気づけるような内容になっている。また、吹き出しを利用しながら、児童の言葉で授業をつくることを大切にしている。

## 委員

小1プロブレムを解消するために、推薦した教科書については、どのような工夫がされているか。

## 選定委員

推薦した2者に限らず、全ての教科書において小1プロブレムについて配慮している。特にイラスト写真等によって授業開始段階よりスムーズに学べるように配慮している。東京書籍「新編 新しい算数」では、第1単元で入学直後の学校生活の場面を取り上げるなどの工夫がされている。教育出版「小学算数」では、日常生活において特に必要な時計の授業を1学期の早い時期に設定し、日常生活と算数の結び付けをするといった配慮がされている。

## 委員

推薦した教科書において児童にノート作りを指導する上で、どのような効果があるか。

#### 選定委員

算数に限らずノートは1時間の授業が凝縮されたものになる。ノートを見ると、本日の問題、課題、あるいは自分の考え、まとめ、そして適用問題、結果等が一目で分かるものになる。また、ノートは、児童が自宅で学習を振り返るときの、非常に重要な資料になり、保護者が見たときには、学校でどのような学びをしているのかを確認する一つの判断材料になる。そういった意味で、ノート指導は非常に重要となるが、東京書籍「新編 新しい算数」の6年生の教科書では、「算数マイノートをつくろう」のコーナーを設け、一つのノートを取り上げて、問題解決的な流れで、授業が進んでいるということが如実に分かる。ノートは児童が振り返ったり、保護者が見たり、教師が見たりしたときに、どのような力が付いてきたのか、どういったところが課題なのか、これからどのように学んでいくのか、そのような事が明確に分かる。

#### 委員

算数の難しい課題で分数があるが、推薦した教科書の分数の取り扱いで分かりやすさなどの工夫はどのようにしているか。

#### 選定委員

分数は2年生から始まる。数としての大小から始まり、計算、足し算、引き算、掛け算、割り算、更に発展していき、分数で表す割合など、分数は非常に概念の広いものである。そういった意味でも分数の指導は、発達段階に応じて丁寧に行っていないといけない。東京書籍「新編 新しい算数」はそのような点に配慮して、特に2年生、3年生の指導では、基にする大きさ、分数だと分母にあたる部分の扱い方を非常に大切に扱っている。教育出版「小学算数」には、そこまで大きな取り扱いの記述はない。

#### 委員

算数の選定に当たって重要視したところはどこか。

#### 選定委員

学習指導要領の特に重要な点に基づいて配慮した。やはり問題解決的な学習の仕方が身に付けられるような教科書になっているか、思考力・判断力・表現力を育てられるような内容になっているか、もう一つが、主体的に学べる、例えば、家庭に帰っても学習で使用できる教科書になっているか、そういった点を重要視した。

#### 委員

算数は、個人差の問題があるが、個人差については、もちろん教師が工夫して授業を行っていくことが基本ではあるが、教科書における個人差に応じた対応というのはどのように理解しているか。

## 選定委員

教科書によって様々な取り扱いとなっているが、推薦した教科書において説明すると、東京書籍「新編 新しい算数」では、補充問題にレベルを設けている。その中で自分に適したレベルの問題を解いていく、ステップに応じて解けていくというように、児童自らが主体的に選択しながらレベルアップしていくような作り方をしている。教育出版「小学算数」では、特に算数で使いたい考え方、見方などが掲載されていて、それを視点として自分の学習を振り返っていくといった作り方をしている。

## 委員

小1プロブレムや中1ギャップといった問題もある。そして先ほども分数の話が質疑にあったが、算数を学んでいて、分からなくなってくる頃が4年生くらいが一つの山だと聞いているが、それに関わる一つの問題は分数だと思う。分数が理解できなくなると、その後の5年生、6年生の算数についてほとんど理解できなくなると聞いている。先程も分数の説明を聞いたが、このような観点から分数をとらえたときに教科書の取扱いは、どのようになっているか。

## 選定委員

分数のとらえ方としては、量分数というとらえ方がある。分数を量として扱っていきながら、それが割り算、商分数に発展していき、更に基にする数のどの位の割合になるかという割合分数へとつながっていく。具体的に学んでいく上で、量として扱って学んでいくものと、数直線や図を基にして学んでいく方法と2通りあるが、推薦した教科書は、数直線等を用いて視覚的に捉えながら、分数を量分数から割合分数へと概念を発展させていくことを行っている。

## 委員

推薦した教科書は、説明にあった分数の問題についての取扱いは児童にとって非常に分かりやすいという理解でよろしいか。

## 選定委員

そのとおりである。

## 委員

比例の扱いについては、推薦した教科書についてどのような工夫がされているか伺いたい。

## 選定委員

比例についても、小学校の算数の中で非常に難しい内容の一つである。比例は、何の何倍、一方が2倍ならもう一方も2倍といったように、倍概念といわれている。東京書籍「新編 新しい算数」については、低学年における倍の学習からしっかりと比例に結び付けようと発達段階を捉えながら構成されているのが特徴である。

## 委員

先程、東京書籍「新編 新しい算数」説明で「自学自習の学習習慣を身に付けられるように配慮されている」とあったがもう少し詳しく説明願いたい。

#### 選定委員

教科書の目次のページに、本学年で学ぶ内容の左側に「前の学習」欄があり、学ぶ前にどういった学習が参考になるのかが書かれている。また、右側には「後の学習」欄があり、学んだ内容がこの後の学年でどのようにつながっていくのかが分かる。もし、この学習でつまずいたときに、自分はどこに戻って学び直せばいいかという事が、自分なりに判断することができるような作り方になっている。自学自習するために、例えば家庭に戻ったときに、また学び直しをするときに、自分はどこまで戻ってつまずきを回復すればいいのか、課題をクリアすればいいのか、そういったことが自分で学べるような構成になっている。

#### 委員

教育出版「小学算数」については、4コマ漫画であったり、学びの手引きなどを設けているが、その学習方法について伺いたい。

#### 選定委員

単元のまとめのページが、通常だと演習問題で終わってしまうものが多いが、教育出版「小学算数」では、単元の学習を振り返ったまとめが、初期の段階から順々にどこまで成長したか見えるような、学習で何をやってきたかが振り返れるような、4コマ漫画が掲載されている。これは、学習指導要領で言われている学習を振り返るといっても大事な学習過程である。そういった意味においても、4コマ漫画は、視覚的に捉える目新しいアイデアの一つだと考える。

#### 委員

先程、東京書籍「新編 新しい算数」では、「中学校の数学を具体的に経験する学習を通して、中学校の学習に興味を持って取り組めるよう工夫されている」という説明があったが、中学1年生になったときの中1ギャップを回避するための工夫について、推薦した教科書についてはどのようにされているか。

#### 選定委員

特に、東京書籍「新編 新しい算数」は、中1ギャップを重要視して作られている。6年生の教科書において、算数卒業旅行と題して、中学校の内容である負の数を学んだり、ルートといった無理数や有理数を学んでいたり、図形についても中点連結定理等の基礎的な部分を学べるような工夫がされている。

(教育委員による投票)

#### 委員長

開票の結果、東京書籍「新編 新しい算数」5票、他は0票となり、算数は、東京書籍「新編 新しい算数」を採択することとする。

## 委員長

理科について審議及び採択を行う。

## 選定委員

理科の教科用図書調査研究専門員会において、教科書目録に掲載された教科書5者、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書は、東京書籍と啓林館の2者とした。

推薦理由について、東京書籍「新編 新しい理科」では、巻頭には学習する内容が領域ごとに明示され、学年で学ぶ全体像がつかみやすくなっている。また、問題解決の学習過程を学年に応じた表記で児童に分かりやすく説明している。更に、各単元の中では「問題」「観察・実験」「まとめ」の文字を特に大きく示しつつ学習過程を緑色のラインでつなげて分かりやすく表示し、児童の思考に沿って展開するように工夫されている。単元の導入では、内容に関わる鮮明な写真や活動事例を大きく取り上げ、児童の意欲を高めるように配慮されている。そして、直接体験を重視し、観察・実験をする上での着眼点が明示され、問題解決を図りながら知識や技能を定着させるように構成されている。観察・実験の後には「理科のひろば」があり、実生活との関連を重要視している。また、単元末の「たしかめよう」という欄では、チェック欄を活用して学習内容の理解について自己評価することができる。全体的に理科の学び方を身に付け、学力向上につながるよう配慮されている。

啓林館「わくわく 理科」では、巻頭に「学習の進め方」を設け、問題解決の過程を学年に応じて分かりやすく説明を加えている。また、別冊教科書「わくわく理科プラス」では、学習の始めに、単元の導入時における既習事項の想起や予想の記入、学習の終わりに、知識・理解の定着を確認するなどまとめの学習として利用できる。単元の導入時に見開きでダイナミックな自然事象や活動場面の写真を掲載し、児童の興味・関心を高めるとともに、「学習のめあて」を示して学習意欲を高めるように配慮している。単元末には、「まとめよう」「たしかめよう」の欄を設け、学習内容のまとめと科学的用語の確実な定着を図るよう意識して構成している。また、「ひろげよう」のページを設け、実社会と関連した内容をビジュアルな紙面で扱い、理科に一層興味を持てるように工夫されている。児童の主体的な学びを支援するような構成になっている。

## 委員

児童の理科離れや理科嫌いが問題になっていると思うが、これを解決するために、推薦した教科書については、どのように対応しているか。

## 選定委員

児童の理科離れや理科嫌いの問題については、やはり理科の授業の中で、学ぶことが面白い、楽しい、問題解決的な学習を取り入れた授業を実際に行っていくこと



が大切だと考える。この点において推薦した教科書は、問題解決における学習過程を非常に明確に打ち出した構成になっている。

委員

推薦した2者の教科書の違いを具体的に説明願いたい。

選定委員

東京書籍「新編 新しい理科」の場合、理科の世界へ飛び出そうという学び方の説明がある。不思議をつかもうから始まり、観察・実験、まとめという文字は大きく示している。啓林館「わくわく 理科」においても、同じように「学習の進め方」という理科の学習を進めるときには、こういう進め方が大事だということを、児童にも保護者にも分かるように書いてあり、問題解決の学習過程を示している。

委員

観察や実験においては、安全第一だと思うが、安全面への配慮はどのようにされているか。

選定委員

理科は、観察・実験を行う授業であるため、児童がけがをしたり実験中に事故が起きてはいけないので、安全についてはどの教科書も力を入れて注意を呼び掛けている。東京書籍「新編 新しい理科」では、教科書のいたるところで、赤い文字を用いて注意喚起を促すような表記がされている。例えば、危険という白抜きに赤い文字に続き、「やけどをするので、湯に触ったり、湯をこぼしたりしない」というような記載がされている。実験の場面ではこういった事故が考えられるので危険であるといった記載が、非常に目立つ赤い文字で示されている。啓林館「わくわく 理科」においても、各教科書の目次にこのマークが出てきたらのコーナーにおいて4から9通りの色と場面をマークによって使い分けている。「安全メガネをかける」、「火を近づけない」、「エクスクラメーションマーク」のところでは安全のために特に注意するという意味で示され、それぞれの観察・実験のページにおいても、マークと併せて、例えば直接火にかけたり、火に近づけたりしてはいけないといったように、この場面では「こんな点に注意しましょう」という事柄が分かりやすく表記されている。

委員

推薦した教科書は、各単元の最後に「まとめよう」や「たしかめよう」といったまとめのページが掲載されていて、啓林館「わくわく 理科」においては、「ひろげよう」のページを設け、実社会と関連した内容をビジュアルな紙面で扱っているとの事だが、具体的には、どのように掲載されているのか。

選定委員

啓林館「わくわく 理科」において、「ひろげよう」の一例を説明すると、6年生の教科書、水溶液の学習では、草津中和工場の写真が取り上げられている。白根

山の火山は酸性が強いので、火山の湖の水が、近くの川に流れてしまうと強い酸性の川になってしまい被害を生じるため、アルカリ性の液を混ぜながら川に排水をして中和を図っている事例が掲載してある。

#### 委員

啓林館「わくわく 理科」では、別冊教科書「わくわく理科プラス」があり2冊になっているが、別冊の特徴と2冊にするメリットとデメリットを聞かせて頂きたい。

#### 選定委員

啓林館「わくわく理科プラス」は教科書別冊であり取り外しができる。教科書本体から落とさないようにポケットを付けるといった工夫がされている。学習の初めに、この単元に関わる学習が、今まで学習したかどうか、思い出してみようのページがあり、比較的若い教師、理科を不得意とする教師にとっては、別冊「わくわく理科プラス」があることによって教えやすいというメリットがある。学習の終わり、単元の終わりには、力だめしにチャレンジしようや科学用語を定着させようといったものがある。若い教師が別冊「わくわく理科プラス」を用いて教えやすい反面、別冊「わくわく理科プラス」を用いて授業を進めていけば、理科が教えられるだろうと安易に考えてしまい、理科の授業を簡単に扱ってしまうことが考えられる。本来観察・実験を重視し、問題解決の学習過程を重視するのが、理科の学習であることから、別冊「わくわく理科プラス」の使用について十分な研究が必要である。

#### 委員

別冊「わくわく理科プラス」の使い方によってはデメリットになるとの事だが、それを防ぐ方法について伺いたい。

#### 選定委員

別冊「わくわく理科プラス」を使う教師の指導力の向上によるところが大きいと考える。

#### 委員

先程も理科嫌いの話が出たが、教科書の中で写真といった視覚で訴える部分で、児童が興味を持つことは非常に大きいと思うが、その扱いについては推薦した教科書はどうか。

#### 選定委員

啓林館「わくわく理科プラス」は、単元の導入に掲載のある写真が、非常にダイナミックな写真を掲載している。東京書籍「新編 新しい理科」においても、単元の導入の写真は、子どもたちの楽しい会食の写真を掲載しており、植物の単元では、下から木を見上げているアングルによるダイナミックな写真を掲載している。

#### 委員

2者共に視覚的に児童が興味を持つという点においては、しっかり取り上げてい

るという事でよろしいか。

選定委員

そのとおりである。

委員

理科の教科書が5者あるが、東日本大震災以降、防災計画の重要性についていわれているが、理科においては、自然災害や防災計画についてどのように扱っているのか説明願いたい。

選定委員

理科教育で取り上げる、防災教育の分野において、5年生では、流水のはたらきの学習で川が氾濫したときに、どのような被害が街や農産物に関わってくるのか等の学習を行う。更に6年生では、大地のつくりと変化の単元で火山活動の学習を行い、その中で、自然災害による被害の防ぎ方といった学習を行う。

委員

推薦した教科書において、児童にどのような学習の力が身に付くのか、それぞれの狙いを伺いたい。

選定委員

基礎的・基本的な知識・技能が定着するようなことを狙いとして、問題解決的な学習の単元の構成が主として挙げられる。更に、思考力・判断力・表現力を高めさせる児童の育成を狙っているため、観察・実験の中での話し合い、観察・実験の結果から考察をしていくまとめの段階においても、2者共に丁寧に取り組んでいるため、教科書によってここに力を入れているといった大きな差はない。

委員

本市は校種間連携を行っているが、小学校の理科の内容と中学校の理科の内容の関連に対してどのような工夫がされているか。

選定委員

小学校と中学校への関連については、東京書籍「新編 新しい理科」の場合、6年生の教科書の巻末において、「中学校ではこんな学習をします」という表記が載っている。学習指導要領の解説においても6年生の学習内容に、粒子の概念やエネルギーの概念といったものが中学校で学習する内容へつながるものとして明記されており、教科書の中に、中学においてこのような勉強をするという表記が載っている。啓林館「わくわく理科」においても、6年生の教科書の巻末に「6年生の理科をふり返ろう」という1年間のふり返りがあり、6年生の授業が中学校につながっており、小学校、中学校の連携を図るといった考えで構成されている。

(教育委員による投票)

委員長

開票の結果、啓林館「わくわく 理科」3票、東京書籍「新編 新しい理科」2

票、他は0票となり、理科は、啓林館「わくわく 理科」を採択することとする。

#### 委員長

生活について審議及び採択を行う。

#### 選定委員

生活の教科用図書調査研究専門委員会において、教科書目録に掲載された教科書7者、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、光村図書、啓林館、日本文教出版について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書は、東京書籍と啓林館の2者とした。

推薦理由として、東京書籍「新編 新しい生活」では、上巻「すたあとぶつく」で幼児教育と小学校教育をつなぎ、保護者へのメッセージも載せて円滑な接続に配慮している。また、イラストや写真掲載の量的なバランスも良く、ダイナミックな写真で児童の学習意欲を高め、学習活動が深まる構成になっている。更に、公園や町探検などに、継続的に係わる活動を通して、対象への興味・関心や気づきの質を高めるように配慮している。単元の至る所に「やくそく」欄があり、活動時に注意することは何かを児童自身が気づくように指導することができる。また、巻末の「べんりてちょう」では、安全面の指導事例や道具の使い方、健康な暮らしのための配慮事項がまとめられていて指導をする上で効果的に活用できる。紙面の色が春夏秋冬と季節ごとに変わるように工夫されており、子どもたちが、季節感を感じながら学習を進められるように配慮されている。

啓林館「せいかつ」では、上巻では、「いちねんせいになったよ」からスタートし、通学路や学校生活の1日について、気づいたことを発表したり、話し合ったりしながら学校が安心して生活ができる場であることを子どもたちが実感できるように配慮している。また、単元は、導入の「わくわく」、主な活動の「いきいき」、交流活動の「つたえあおう」、広げて深める「ちゃれんじ」の4段階を明確にして構成してある。別冊「せいかつたんけんブック」には、実物大の資料や豊富なイラストを掲載し、野外観察の際に使用できる。また、上巻末の「わくわくずかん」、下巻末の「いきいきずかん」では、動植物の写真や発表例、安心安全な生活の仕方など多様な資料を掲載している。公園、町、野原などの季節ごとのイラストを掲載することで、季節による変化やそこで生活する人々・動植物の変化に気づけるように配慮されている。

#### 委員

推薦した教科書の大きな特徴をそれぞれ伺いたい。

#### 選定委員

2者共に大きな特徴はないが、低学年において学習するものであるため、「うわあ、どんな学習をするんだろう」や「行ってみたいな」といった感情に訴えるよう

なきれいなイラストや写真、子どもたちの活動の様子などが2者共に豊富に掲載しているのが特徴である。

委員

川越に関する記述はあるか。

選定委員

川越に関する記述については、注視していない。「公園に行こう」や「この街の探検に行こう」といった学習になるため、地域ごと、学校ごとによっても異なるため様々かと思う。教科書の記述については、確認が取れていない。

委員

生活の科目については低学年の学習教科で、学校に入って、社会などの面を学習するものだが、推薦した教科書について、安全教育という点での記述や特徴があれば説明願いたい。

選定委員

東京書籍「新編 新しい生活」では、教科書の横に約束欄があり、例えば、「みんなの公園へ行こう」、「公園で遊ぼう」という学習では、「どんな約束が必要か」と児童に教師が問題提起すると、「並んで行こう」、「横断歩道を渡って行こう」、「トイレがどこにあるか調べておこう」といったことを挿し絵で児童自らがどのような約束が必要か気づかせるような配慮がされている。交通安全や事故に合わない、蜂に刺されないなどの約束欄があり、安全面の配慮がされている。啓林館「せいかつ」では、表記の仕方として、「あぶない」や「こんなときはどうしよう」といった欄があり、各単元の中で「危ないので約束を守ろう」といったことを児童と話し合いながら決めていく。例えば「草花でも遊べるよ」という単元では、危ないから蜂の巣に近づかないようにといったことを、児童に教科書の写真や絵を見せると、「危ないから蜂の巣に近づかないようにするんだ」といったように気づいて学習する。「チャドクガの幼虫や葉についている幼虫に触れない、たたいて落とさない」といったように気づかせている。このように、「危険個所があるよ」といった事を友達同士で確認しながら学習できるように、安全面への配慮をしている。

委員

学習指導要領で生活の場合、気づきの質を高める事が重要とあり、先程の説明は、気づきの質を高めるといった視点からの説明でもあると思われるが、推薦した教科書については、他者と比べて優れているということによろしいか。

選定委員

ご指摘のとおりである。児童の気づきの質については、教師の言葉の説明による質の高まりより、活動や友達の発言、感じたものからの気づきの質の方がより高まる。そのために教科書は、学習過程も工夫するが、活動したくなるようなダイナミックな挿し絵、同じ1年生などが楽しそうに活動している挿し絵によって活動を促

している。児童の気づきの質を高める前段階の取り組みとしては、2者共にすばらしい写真等を掲載している教科書である。

委員

その中であえて違いを説明するとどこか。

選定委員

写真のアングルに工夫、違いがある。東京書籍「新編 新しい生活」の種をまこうという学習では、種をまく子どもを土の中から見上げたアングルの写真に掲載しているので、こんな風に種をまくんだ、といったように少し児童がドキッとするようなアングルになっている。啓林館「せいかつ」においても、単元の導入においては、教師と児童が楽しそうに活動している写真を掲載しており、児童自身が楽しく活動をしたと思わせる写真になっている。2者に優劣は付けられないが、それぞれに違った工夫を凝らした写真となっている。

委員

啓林館別冊「せいかつたんけんブック」の学習における効果があるのか伺いたい。

選定委員

児童が野外学習のときに、別冊は穴が開いているのでひもを通して、首にかけて落とさないように持っていける。また、探検のバインダーがあり、はさんだりひもで留めたりして持ち運べる。野外学習の際には、葉の大きさなどの実物大の写真があり、名前を調べたりするときに非常に有効であり、学習効果は高まると考えられる。反対に野外学習に出かける際に、教師の指示に従い、首にかけたり、バインダーにはさむといったことができていない児童がいると活動の妨げになってしまう。その点は教師の指導による部分もある。また東京書籍「新編 新しい生活」においても、上巻の巻末に切り離せるように「ポケットずかん」があり、啓林館別冊「せいかつたんけんブック」同様に野外学習に活用できるように工夫されている。

(教育委員による投票)

委員長

開票の結果、東京書籍「新編 新しい生活」3票、啓林館「せいかつ」2票、他は0票となり、生活は、東京書籍「新編 新しい生活」を採択することとする。

委員長

音楽について審議及び採択を行う。

選定委員

音楽の教科用図書調査研究専門委員会において、教科書目録に掲載された全ての教科書2者、教育出版、教育芸術社について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書は、教育出版と教育芸術社の2者とした。

推薦理由について、教育出版「小学音楽 音楽のおくりもの」では、教科書主要部分の構成が、題材群1「基礎となる学習」で習得したことを題材群2「学習の広がり」で活用する構成になっている。基礎的・基本的な事項を身に付けさせるため、繰り返し学習が積み重ねられるように工夫されている。「共通事項」が明記され、学習の焦点化を図れるように工夫されている。活動のポイントや発展的な活動のポイント、「もっとあそぼう」コーナーが示され、更には鑑賞や音楽づくりで直接書き込みができる欄を設けて、主体的に学習に取り組める工夫がされている。見開きのページ構成により、色鮮やかな写真、イラストが大きく掲載され、興味・関心を高めるように工夫している。表現や鑑賞教材と関連した内容を「音のスケッチ」として取り上げ、音楽づくりに取り組めるよう工夫がされている。題材のねらいに沿って、表現及び鑑賞の関連性が図られている。

教育芸術社「小学生の音楽」では、基礎的・基本的な事項を身に付けさせるため、楽しみながら、無理なく、スパイラルに積み重ねの学習ができるように工夫されている。「共通事項」を踏まえて、より深く学習できるように工夫されている。題材ごとに学習の目標や学習活動の進め方が明示されていて、発展的な教材も充実しているため、見通しをもった主体的な学習ができるように工夫されている。題材の目標に迫るために適切な教材が選定、配列されている。共通教材が、「こころのうた」として取り上げられ、季節感あふれる写真や絵を取り入れ、情景を深く味わって学習できるよう工夫されている。表現と鑑賞の分量が適切であり、題材のねらいに沿った教材が選ばれ、無理なく活動ができるように構成されている。白を基調としたすっきりとしたデザイン、やさしい色調のイラストで、重要な部分が優先的に目に飛び込んでくる工夫がされている。

## 委員

推薦した教科書について国歌「君が代」の取り扱いはどうか。

## 選定委員

国歌「君が代」については、学習指導要領においても、発達段階に即して、いずれの学年においても歌えるように指導計画を立てることになっている。したがって、全ての教科書会社において、全学年の教科書で国歌「君が代」を掲載し、指導できるようになっている。

## 委員

推薦した教科書は、我が国の伝統的な楽器や音楽について扱っているか。

## 選定委員

2者共に配慮がされている。共通しているのは、「こころのうた」、「にっぽんのうた」といった項目を設け、その中で伝統的な音楽や音楽文化について楽曲などの掲載がある。特に教育出版「小学音楽 音楽のおくりもの」では、わらべ歌や郷土の音楽、世界の様々な音楽や日本の伝統的音楽などが発達段階に応じて、鑑賞で

あったり、表現であったりそれぞれの分野で学習できるように配慮されている。教育芸術社「小学生の音楽」については、「こころのうた」の項目に楽曲の掲載があり、特に説明文や情景描写の写真が用意されていて、児童が非常に興味関心を持って、写真から感受性を働かせながら歌うことができるように配慮されている。また、「歌いっごう日本の歌」という項目を設けて、童話や唱歌について取り上げて、家庭においても世代を超えて日本の音楽文化を共有できるような配慮がされている。

#### 委員

楽器の指導について工夫されている点があれば、教えていただきたい。

#### 選定委員

1年生の教科書で比較すると、1年生では打楽器の指導があるが、教育芸術社「小学生の音楽」では、トライアングルや鈴といった打楽器の持ち方はさることながら、奏でる音を「しゃんしゃんしゃん」、「しゃらららん」といった具体的な表記をしている。教育出版「小学音楽 音楽のおくりもの」については、巻末に楽器を一覧として掲載され、持ち方、鳴らし方等が分かるような扱いになっている。

#### 委員

音楽における言語活動、思考力・判断力・表現力の育成については、音楽では具体的にどういった活動をするのか。それについて推薦した教科書では、どういった工夫がされているか。

#### 選定委員

思考力・判断力・表現力と言語活動の関係については、言語活動を通して思考力・判断力・表現力と育てるといような意味を持つ。音楽による言語活動は、学習方法の一つであり、音楽科では鑑賞の学習場面において、自分が感じ取った音楽の良さ、楽しさ、特徴等を言葉で表わすことがある。教育出版「小学音楽 音楽のおくりもの」、教育芸術社「小学生の音楽」では、鑑賞のページに自分が鑑賞して感じた音楽の特徴や感想を書くように欄を設けている。このような点において2者に差異はない。

(教育委員による投票)

#### 委員長

開票の結果、教育芸術社「小学生の音楽」5票、教育出版「小学音楽 音楽のおくりもの」0票となり、音楽は、教育芸術社「小学生の音楽」を採択することとする。

#### 委員長

図画工作について審議及び採択を行う。

#### 選定委員

図画工作の教科用図書調査研究専門委員会において、教科書目録に掲載された全て



の教科書2者、開隆堂、日本文教出版について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書は、開隆堂と日本文教出版の2者とした。

推薦理由について、開隆堂「図画工作」では、学習の目標を見開きの左上に明示し、見開きの右下には、児童が自己の学びを確認できるよう「ふりかえってみよう」コーナーを設置している。加えて、掲載されている作品例の質が非常に高く、且つ、制作の発想やヒント、留意事項を吹き出し風に掲載し、児童の制作への意欲を高め主体的な活動をいっそう促すことができるよう工夫している。取り上げられている題材については、児童の発達段階に応じ系統的に配置されており、楽しく着実に図画工作における力を身に付けることができるよう配慮されている。また、囲みを使って、表現の技法、制作の手順、用具の使い方等を分かりやすく提示しているので、児童にとっては単元での活動を把握しやすく、教員にとっても活動内容をイメージすることができ、指導性を発揮しやすい。巻末では、材料や用具の取り扱いを示すとともに、表現における基礎的・基本的な知識や技法を確認できるよう工夫されている。

日本文教出版「図画工作」では、図画工作でのねらいを題材名の右に明示し、児童・教員の双方で学習の方向性やゴールを共有できるよう配慮されている。また、題材における学習活動の様子を、児童の活動している写真等で大きく紹介し、表現する喜びや楽しさが伝わるよう工夫されている。更に、各ページに加えられた吹き出しが、活動を広げたり深めたりする手がかりとなり、主体的な学習を促すよう配慮されている。取り上げられている題材については、発達段階に応じ系統的に配置されており、楽しく図画工作の力が付くように選ばれている。また、活動中に気を付けることや片付けについても見開きの右下にコーナーを設けるなど、細やかな配慮がなされている。巻末では、材料や用具の使い方、表現における基礎的・基本的な知識や技法を確認できるよう工夫されている。

#### 委員

開隆堂「図画工作」の方が、版が大きいのが、教科書のページ数や題材数に違いがあるか。

#### 選定委員

日本文教出版「図画工作」と比べると開隆堂「図画工作」の方が若干であるが、版が大きくなっている。従来の開隆堂の教科書は、版が小さかったが、今回大きくした。その分、日本文教出版「図画工作」より題材数は多くなっている。

#### 委員

開隆堂「図画工作」は、「児童の制作への意欲を高め主体的な活動をいっそう促すことができるよう工夫している」一方、日本文教出版「図画工作」は、「主体的な学習を促すよう配慮されている」との事だが、もう少し具体的に説明を伺いたい。

## 選定委員

開隆堂「図画工作」は、見開きに児童が何を指して学習に取り組み、力を付けていったらいいかを單元ごとに明示している。それに合わせて、四つの振り返りの評価、自分が行ってきた活動が、いかにできたかを振り返る事ができる仕組みで構成されている。日本文教出版「図画工作」は、非常に分かりやすく、四つの必要とされる観点で、この單元ではこの四つを学習していくと明示されている。また、最後の所では、子どもの吹き出しを用いながら、自分の行ってきた活動を振り返られるように作られている。両者共、同じような形で構成されている。

## 委員

材料や用具について推薦した教科書では、どのような説明や掲載をしているか伺いたい。

## 選定委員

用具等については、両者共、非常に丁寧な説明をしている。巻末に「この用具はこのように使用します」といったように詳しく掲載している。この点については、両者共、非常によく考えて作られている。

## 委員

開隆堂「図画工作」の説明において、「教員にとっても活動内容をイメージすることができ、指導性を発揮しやすい」とあったが、具体的にはどういうことか。

## 選定委員

開隆堂「図画工作」は、教科書の導入の部分において、どうやって制作していけばいいのかといった手順が、写真入りで細かく紹介されている。日本文教出版社「図画工作」には、こういった手順が紹介されていない。開隆堂「図画工作」は、手順が紹介されているため、児童や教師にとって授業内容が分かりやすくなっている。

## 委員

非常に解りやすいがためのデメリットはあるか。

## 選定委員

デメリットについては、教師の指導力に関わる部分が多いこと。手順が同じになってしまうため、同じような作品が出来上がりやすいといった可能性が挙げられる。

## 委員

想像力といったものは、あまりに手順通りだと説明にあったように同じようなものが出来てしまい、養えないのではと考えるがいかがか。

## 選定委員

開隆堂「図画工作」においては、手順の仕方のみ細かく紹介されている。発想や構想の広がりについては、所々に吹き出しを用いながら、補う形で広げる工夫をし

ている。

委員

学習の参考になる児童の作品数の違いについて伺いたい。

選定委員

開隆堂「図画工作」の方が作品数は多く掲載されている。逆に、日本文教出版社「図画工作」は、児童の活動の写真が多く掲載されている。

委員

活動において、のこぎり、金づち、彫刻刀といった道具を使用すると思うが、道具の説明及び使い方の指導はどのように取り上げられているか伺いたい。

選定委員

両者共に、非常に丁寧に紹介されている。例えば、金づちについては、使い方や注意事項が掲載され、巻末や使用する單元においても、ページの中で囲み等を用いながら紹介している。

(教育委員による投票)

委員長

開票の結果、開隆堂「図画工作」5票、日本文教出版「図画工作」0票となり、図画工作は、開隆堂「図画工作」を採択することとする。

委員長

家庭について審議及び採択を行う。

選定委員

家庭科の教科用図書調査研究専門員会において、教科書目録に掲載された教科書2者、東京書籍、開隆堂について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書は、東京書籍と開隆堂の2者とした。

推薦理由について、東京書籍「新編 新しい家庭」では、全ての学習項目で問題解決的な学習ができるように「1 見つめよう」「2 計画しよう・活動しよう」「3 生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」という三つのステップで展開されており、学習が確実に身に付くよう工夫されている。また、各ステップに「学習のめあて」とそれに対応する「ふり返ろう」が設定されており、目的意識を持って学習に取り組めるようになっている。今日的な課題への対応については、防災、伝統文化、キャリア教育、環境、安全指導が掲載されている。実習・制作の手順も、実感を伴って作業が進められるように写真で示している。巻末の拡大版では、安全に実習するため、実物大の作業場面の写真を掲載し、実習前に練習できたり、確認できたりするよう工夫されている。学んだことが書き込めるようになっており、また、キャラクターの吹き出しの内容が工夫されており、自分の考えを持ちやすくし

ている。

開隆堂「小学校 わたしたちの家庭科」では、2年間の学習を見通した内容構成となっており、5年生での基礎・基本を基に、6年生では、計画的に工夫し、家庭科の学習が見通しを持って学べるよう工夫されている。また、学年ごとに大テーマを設定し、スモールステップで学習が進められるようになっている。題材ごとに「学習のめあて(目標)」と本文の項目番号「ふり返ろう、生かそう」が対応しており、主体的な学習を進める上で指導と評価の一体化が図られている。課題の投げかけにより、学習における「習得」「活用」「探求」がバランスよく配置されている。レイアウト、デザインは、児童の発達段階・思考の流れや視覚を考慮して、写真や図、色彩などカラーバリアフリーの配色となっている。巻末に、家庭科でよく使われる用語一覧を掲載するなどの工夫がなされている。家庭科としての安全・防災教育の観点から、防災マークや食物アレルギー、食中毒への対応も記述され、実感を伴った構成になっている。

委員

家庭生活に関心を高めたり、衣食住をつなぐ大切さなどについて、推薦した教科書においてはどのように扱っているか。

選定委員

家庭生活の関心を高めるとともに、家庭生活を総合的に捉える視点から、家庭の生活と関連させながら衣食住などの内容を扱っている。特に東京書籍「新編 新しい家庭」では、家族のだんらんから調理に結び付ける。また、生活時間から朝食の準備に結び付けるなど、家庭での実践に結び付けられるよう学習の流れが工夫されている。開隆堂「小学校 わたしたちの家庭科」では、長期休業前に実施する題材の配置を工夫し、家庭での実践につなげ、家族の一員としての意欲を育てる工夫をしている。

委員

推薦した教科書について、授業で学習した事を家庭で実践していくことについてどのように工夫されているか。

選定委員

食事の場面をとってみても、教科書の書き方や掲載内容などが中学校や高校、社会人、あるいは1人の生活を始めた場合でも活用できる。このように、衣食住の全てにおいて教科書の掲載内容が日常で活用できるように工夫されている。

委員

推薦した2者の教科書に大きな違いはないのか。

選定委員

そのとおりである。

委員

家庭科の授業で児童たちが楽しみの一つである調理実習の内容についてはどのような取り扱いになっているか。

#### 選定委員

東京書籍「新編 新しい家庭」では、教科書の始めに「家庭科を学ぼう」のページがあり、「計画しよう・活動しよう」では、調理実習の仕方や様子をイラスト等で掲載している。単元に入っていくと調理実習のための支度やみそ汁の作り方など2年間の計画で進められるように作られている。開隆堂「小学校 わたしたちの家庭科」においても、見開きページにある「家庭科の学習」には、5年生から家庭科の授業が始まり、2年間で授業が進められていくといった学習の概要が掲載され、調理実習を踏まえた食生活の授業計画がされており、各単元において詳しく掲載されている。

#### 委員

中学校の技術家庭科の内容との継続性や連続性を重視していると思うが、教科書ではどのようなになっているか。

#### 選定委員

学習指導要領では、A・B・C・Dで、家庭科の内容が示されている。Aが「家庭生活と家族」、Bが「日常の食事と調理の基礎」、Cが「快適な衣服と住まい」、Dが「身近な消費生活と環境」と設定されており、推薦した2者共に内容ごとに単元が設定されている。開隆堂「小学校 わたしたちの家庭科」においては、インデックスで色分けをしたり、中学生に向けて児童の意欲を記入する欄を設けている。

(教育委員による投票)

#### 委員長

開票の結果、開隆堂「小学校 わたしたちの家庭科」5票、東京書籍「新編 新しい家庭」0票となり、家庭は、開隆堂「小学校 わたしたちの家庭科」を採択することとする。

#### 委員長

保健について審議及び採択を行う。

#### 選定委員

保健の教科用図書調査研究専門委員会において、教科書目録に掲載された全ての教科書5者、東京書籍、大日本図書、文教社、光文書院、学研教育みらいについて、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書は、東京書籍と光文書院の2者とした。

推薦理由について、東京書籍「新編 新しい保健」では、課題解決の力を育てる紙面構成になっており、児童の主體的な学習活動を促すよう工夫されている。各項の冒頭に、「学習課題」を明記し個々の活動が言葉で表されており、学習の流れと

活動内容が工夫されている。また、現行より幅が、28ミリメートル広くなり、広くなった紙面を活用して、資料性を高め授業の流れが一目で分かるようなレイアウトになっている。更に言語活動を充実させるため「記入欄」が設けられている。各所にキャラクターやイラスト、写真などを豊富に掲載し、全ての文字についてユニバーサルデザインフォントを使用している。学習内容を広げ、深める資料も充実しており、今日的課題である防災教育、安全教育、薬物乱用防止教育等の視点も踏まえて構成されている。保健の既習事項や他教科との関連、人とのつながりや実生活とのつながりを重視したものになっている。「まめちしき」では、学習内容の更に詳しい説明があり、インターネットを使って調べるためのホームページアドレスの紹介などがあり、主体的に学習が進められるよう工夫されている。

光文書院「新版 小学保健」では、習得すべき基礎的・基本的な知識や原理・原則などの学習内容を、紙面の冒頭に「つかむ」というコーナーで位置付けており知識を確実に習得できるよう工夫されている。また、習得した知識を活用して課題解決する「あてはめてみよう」、「見つけよう」、「つたえよう」などの「活用」欄が設定されており、思考を深める構成になっている。学習したことを基に、児童が書き込みをしたり、友だちにアドバイスしたりするなどの言語活動を充実させることで、主体的に学習に取り組む態度を養う工夫がなされている。イラスト、図表、写真など、知識の習得を促す資料を掲載し、視覚による理解を図る工夫がなされている。発展的な学習内容や今日的課題を「発展コーナー」「保健の広場」で取り扱い、学習に広がりを持たせている。脚注に「知っておくとためになる内容」のホームページアドレスも紹介されている。

#### 委員

食育について、学習指導要領ではどのように扱われているか。

#### 選定委員

食育については、学習指導要領において、食事、運動、休養及び睡眠について、食育の観点も踏まえつつ、健康な生活習慣の形成に結び付くよう配慮するとともに、保健を除く3年生以上の各領域及び学校給食に関する指導においても食育を反映した指導を行うように配慮することとなっている。

#### 委員

今の説明を踏まえて、推薦した教科書については、食育についてどのように反映されているか伺いたい。

#### 選定委員

食育に関する扱いは、2者共に4年生の学習「育ちゆく体とわたし」の中で脚注等を掲載して具体的な説明や他の教科とのつながりについて説明している。光文書院「新版 小学保健」については、4年生以外の学年においても、食育と関係する単元において具体的な説明を行っている。食の大切さに関わる内容について食育の

マークを示して説明している。

委員

最近、薬物が乱用されていて話題となっているが、保健において薬物乱用についてどのように扱っているか。

選定委員

光文書院「新版 小学保健」では、5年生及び6年生の教科書において薬物乱用の害という単元を設けている。東京書籍「新編 新しい保健」においても、同様の教科書に薬物乱用の害と健康という単元を設けて写真など大きめに扱っている。

委員

5者の教科書から2者の推薦との事だが、選定に当たって一番大事にした視点を伺いたい。

選定委員

学習指導要領においても、総則第1章第1の3に「体育・健康に関する指導」が明記されている。4年生からの学習内容になるが、生涯にわたって健康で安全な生活を営む基礎を培うといった観点から調査研究を行い2者を推薦した。

委員

推薦した教科書については、調べ学習の視点でホームページの紹介があるが、実際の指導の中で、どのくらいの利用率があるといった事を把握しているか。

選定委員

ホームページの紹介は新しい教科書に掲載されていて、主に5年生及び6年生の学習において、もう少し詳しく調べたい場合や、授業の1コマにコンピュータ室を利用した授業を取り入れて、ホームページで詳しく調べるといった活動が想定できる。

委員

先ほど薬物乱用の説明があったが、危険ドラッグについての記載はないか。

選定委員

最近、厚生労働省より合法ドラッグや脱法ハーブといった呼び名を危険ドラッグという名称に統一したが、推薦した教科書においてそこまでの記載はない。しかしながら、以前の名称で呼ばれていた覚せい剤のスピード、エスといった名称は取り扱っていて、その危険性については説明している。

委員

東京書籍「新編 新しい保健」の説明において「今日的課題である防災教育、安全教育、薬物乱用防止教育等の視点も踏まえて構成されている」とのことだが、他の4者においては、どのような今日的課題が掲載されているか。

選定委員

東京書籍「新編 新しい保健」を除く4者についても、防災教育や食育、薬物乱

用防止、生活習慣病の予防といったものを取り上げている。

(教育委員による投票)

委員長

開票の結果、東京書籍「新編 新しい保健」5票、他は0票となり、保健は、東京書籍「新編 新しい保健」を採択することとする。

## 10 その他

- (1) 議事に先立ち委員長から、議案第24号の関係者として、小学校用教科用図書選定委員会委員である川越第一小学校校長、中央小学校校長、仙波小学校校長、新宿小学校校長、古谷小学校校長の出席について各委員が承認し出席が認められた。
- (2) 会議録署名委員として、長谷川委員長職務代理者、原田委員が指名された。
- (3) 会議について10名の傍聴があった。